

幾寅小学校・26名(3月14日)



「たくさんの思い出を胸に」 町内各学校「卒業式」

3月1日の南富良野高校を皮切りに、町内の各学校において卒業式が挙行政され、85名の生徒がこれまで学んできた数々の知識とたくさんの思い出を胸に学び舎を後にしました。

幾寅小学校では、3月14日に第101回目の卒業式が行われ、26名の卒業生1人ひとりに校長先生から卒業証書が授与され、卒業生は笑顔で校長先生と固い握手を交わしていました。



金山小学校・3名(3月18日)



南富良野高校・29名(3月1日)



落合小学校・2名(3月19日)



南富良野中学校・25名(3月13日)

3月17日、南富良野高校では、卒業式に出席できなかった小柴早紀さんのために卒業式が行われ、既に卒業した同級生や在校生が見守るなか、校長先生から卒業証書が授与されました。

小柴さんは、スキー部に所属し、3月1日の卒業式当日も大会出場のため、出席できなかったため、生徒会が企画して行われたもので、「皆が集まって卒業式をしてくれてうれしかった。」と感激していました。



第5回 道新マイブック大賞

町立金山・落合診療所の中村義博先生が 「キタキツネのキキ」で佳作を受賞

町立金山・落合診療所の

中村義博先生

が制作した物

語「キタキツ

ネのキキ」が

このたび行わ

れた第5回道

新マイブック

大賞(北海道

新聞社主催)で佳作を受賞されました。

この賞は、昨年1年間に道新マイ

ブックとして刊行された自費出版作品

の中から優れた作品を讃えるもので、

中村先生は、2月13日に北海道新聞本

社で行われた授賞式で、菅原紀夫出版

局長から表彰を受けられました。

受賞に際して中村先生は、「過去に

医学論文を書いたことはあるが、物語

を書いたのはこの作品が初めてで、賞

を頂いてうれしい。」と話していました。

中村先生がこの物語を書いたのは、

毎日落合診療所に通勤するため、かな

やま湖畔を通ると、通りがかりの車に

餌をねだるキツネをよく見かけたこと

がきっかけです。ストーリーは通勤の

時に車の中で考えて、2週間ぐらいで

完成させた作品で、平成18年9月から

平成19年8月までの間、広報でも連載

しました。

今後の作品づくりについては、「ま

た機会があれば挑戦したい。」と話して

